

## 令和四年度 事業報告書

2022年4月1日から 2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 言論NPO

## 1 事業の成果

## 「東京会議」は世界の主要国際会議の1つとして認知された

国際事業の課題は、これまで18回にわたって行われてきた「東京-北京フォーラム」に加えて、2017年に創設した「東京会議」を、言論NPOの中核事業に位置付け、世界を代表する競争力のある会議に成長させることでした。

今回は、コロナも落ち着いてきた3月23日～25日の3日間、3年ぶりに対面方式で開催しました。今年の「東京会議2023」の公開セッションには、ロシアの侵略行為に反対する世界を代表する民主主義国10カ国のシンクタンクの代表者が集まったほか、  
をはじめとする世界のオピニオンリーダーが集結。「ウクライナ戦争をどのように終結させるのか」、「民主主義国は、世界の分断と民主主義の修復にどう立ち向かうか」をテーマとして議論を行いました。

これらの議論を踏まえて、ウクライナ戦争の終結に（中国も含めて）世界が力を合わせ、民主主義の正統性を回復するため、民主主義国の努力を求める、「共同声明」がまとめられ、ウクライナへの電撃訪問から帰国したばかりの、G7サミット議長国である  
に手交されました。「東京会議」には、200人を超える方が会場で傍聴し、今回の会議は、読売新聞や毎日新聞が1ページを使用して特集を組むなど、国内外の多数のメディアで報じられ、大きな注目を集めました。

## アドバイザリーボードやふるさと納税が増加

これらの国際的な対話を動かすためにアドバイザリーボードや理事体制、「東京-北京フォーラム」の実行委員会の拡大に向けた動きを開始しています。寄付者などを広げるための一般フォーラムなどの充実に取り組みました。言論NPOの取り組みに多くの助言をいただくアドバイザリーボードには、経済界から

また女性参画を積極的に進めるため

にご参加いただき、今後や女性の有識者も拡大していく予定です。

ただ、新年度から寄付をしていただくメンバーと支援企業を中心とした勉強会を立ち上げ、翌年度以降、幅ひろい寄付の拡大に向けて本格的な取り組みを動かしていきます。また、「ふるさと納税」による寄付は、令和三年度の2000万円から増加し、2700万円を超える寄付額に達しました。

ただ、コロナウイルスの影響から寄付金は、当初の予定よりも大きく増えておらず、スタッフも最低限の人数を継続して人件費を圧縮している状態が続いています。

## 国内外の課題を私たち自身が考えるため「知見武装」という取り組みを進める

令和三年度末にロシアがウクライナに侵攻し、世界が不安定化する中、私たちのフォーラムが本格化し、「国連の役割」、「中国のロシアへの対応」、「ロシア経済」を始め、ウクライナと世界の平和秩序に向けた議論が続ききました。こうした世界的な困難が続くなかで、市民が自分でこうした課題を自分で考える力を身に着けようと、「知見武装」を提起、昨年の上回る一般フォーラムや、SNSなどの発信を行いました。

参議院選挙直後には「経済と外交・安全保障分野の評価会議」を公開し、さらに、日中国交正常化50周年の記念日の前日、特別企画として日中国交正常化交渉時の  
日中関係が最も悪化した2006年に  
尖閣諸島国有化直後に  
の対中外交の節目に立ち会った外交官と議論を行うなど、歴史的な変化の中で私たちが考えるべき課題を掘り下げました。

こうしたフォーラムは令和四年度は、4月から22回開催し、延べ69氏がパネリストと参加し、議論を延べ約600人が聴衆として参加し、令和三年度に比べて約2倍の議論が発信されました。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1) 「世界の課題解決」事業	○「東京会議2023」を3年振りに対面で開催し、世界を代表する10のシンクタンク代表に加え、世界の元首相やオピニオンリーダーが集結して議論を実施。 ○世界シンクタンク会議（COC）年次総会等へのオンライン参加と、各国シンクタンクとの意見交換 ○国際秩序や世界経済の不安定化といった世界的な課題の解決に向けた議論の世界的発信。	2022年4月～2023年3月	事務所、オンライン、ホテルニューオータニ、東京プリンス	500名	一般	34,021
2) 「アジアの平和構築」事業	○「第18回東京-北京フォーラム」をオンラインで開催し、両国の市民が視聴。同時に、日中共同世論調査・有識者アンケート結果を公表。 ○「第10回日韓未来対話」をオンラインで開催。同時に、10回目となる日韓共同世論調査の実施と公表。 ○日中国交正常化50周年の記念日の前日には、対中外交の節目に立ち会った外交官と議論を行う。	2022年4月～2023年3月	事務所、オンライン、国際文化会館	240名	一般	34,021
3) 「民主主義」事業	○世界55カ国の民主主義に関する世論調査結果を公表すると同時に、調査結果を基にオンラインでの座談会などを実施。 ○「エクセレントNPO大賞」表彰式の開催	2022年4月～2023年3月	事務所、オンライン、毎日ホール等	120名	一般	2,084
4) その他の活動	○「国連の役割」、「中国のロシアへの対応」、「ロシア経済」等、オンラインフォーラムを実施	2022年4月～2023年3月	事務所、オンライン等	60名	一般	371

## (2) その他の事業

--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 第22期 特定非営利活動に係る事業会計 活動計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人言論エヌピーオー  
(単位:円)

科目		金額	
<b>(資金収支の部)</b>			
<b>I 経常収益</b>			
1 受取寄附金			
一般会員/学生会員会費寄附	86人	1,600,000	
基幹会員会費寄附	58人	5,460,000	
法人会員会費寄附	6社	12,000,000	
東京会議寄附(法人)	6社	21,000,000	
エクセレントNPO大賞寄附(法人/個人)	法人7社	4,600,000	
日韓未来対話寄附(法人/個人)	法人3社/個人19人	2,270,000	
活動本体寄附(個人)	33人	1,524,411	
中国事業特別寄附(法人/個人)	法人26社/個人23人	33,265,000	81,719,411
2 受取助成金等			
助成金(第18回東京-北京フォーラム、第10回日韓未来対話、日米北東アジア平和会議、中央区ふるさと納税)	3団体、韓国国際交流財団1,000,000円、中央区ふるさと納税14,163,000円、LUCE財団14,818,978円)	29,981,978	
			29,981,978
3 その他収益			
雑誌販売	言論ブックレット、アマゾン、TBF報告書	38,282	
コンテンツ提供、会費収入その他	ヤフー(コンテンツ提供)ニュース記事	1,171	
記念フォーラム・各種イベント参加費収入	参加費	0	
WEB座談会等参加費	のべ63人分	643,500	
役務収益	委託業務(未収入金計上済)	80,759,396	
			81,442,349
経常収益計			193,143,738
<b>II 経常費用</b>			
言論ブックレット/報告書製作費・書籍・報告書・ブックレット発行無し		0	0
役員報酬		5,000,000	
給料手当等		44,597,134	
法定福利費/福利厚生費		5,509,584	
旅費交通費		27,318,863	
電話代/通信費		1,692,710	
郵送料・運賃		169,776	
保険料		1,049,400	
地代家賃		8,658,722	
会議費		31,963,964	
お土産代		0	
賃借料		4,096,975	
事務用消耗品費		254,922	
備品消耗品費/修繕費		2,125,902	
コピー代、印刷代		2,433,119	
新聞図書費		148,714	
公租公課		62,600	
支払手数料		32,650,876	
WEBコンテンツ外注費		203,609	
水道光熱費		762,727	
減価償却費		13,681	
銀行手数料		694,357	
外注費		2,317,978	
雑費		50,420	
広告宣伝費		1,655,460	173,431,493
経常費用計			173,431,493
当期経常増減額			19,712,245
<b>III 経常外収益</b>			
雑収入:新型コロナウィルス感染症による助成金/給付金等		1,992,514	
受取配当金696、受取利息239		935	
経常外収益計			1,993,449
<b>IV 経常外費用</b>			
支払利息、保証料、雑損失(E-NPO大賞賞金150万円)		2,678,649	
前期損益修正損		0	
棚卸資産減少額		0	
経常外費用計			2,678,649
税引前当期正味財産増減額			19,027,045
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			18,957,045
前期繰越正味財産額			2,863,564
次期繰越正味財産額			21,820,609

令和4年度 第22期 特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

令和5年(2023年)3月31日現在

特定非営利活動法人言論エヌピーオー

(単位:円)

科 目	金 額		科 目	金 額	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金預金	44,528,164		未払金	32,868,155	
棚卸資産	183,035		未払法人税等	70,000	
未収入金/売掛金	81,529,256		前受金	50,326	
その他流動資産	8,991,365		預り金、未払費用等	3,351,179	
流動資産合計		135,231,820	流動負債合計		36,339,660
			2 固定負債		
2 固定資産			長期借入金	30,000,000	
工具器具備品	6,843		長期借入金 370	52,412,000	
敷金	5,053,736		固定負債合計		82,412,000
出資金	10,000		負債合計		118,751,660
固定資産合計		5,070,579			
			III 正味財産の部		
			前期繰越正味財産	2,863,564	
			当期正味財産増減額	18,687,175	
			正味財産合計		21,550,739
資産合計		140,302,399	負債及び正味財産合計		140,302,399

## 注 記 事 項

特定非営利活動法人言論エヌピーオー

(単位:円)

### 1 重要な会計方針

#### (1) 固定資産

計算書類の作成は、発生主義会計により記帳して作成しています。

##### ア. 計上基準

20万円以上で1年以上使用見込みのものを固定資産に計上しています。

##### イ. 減価償却の方法

定率法により減価償却を実施しています。

#### (2) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金及び借入金等を除く短期金銭債権債務等を含めています。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込処理をしています。

### 2 棚卸資産・固定資産を除く資産・負債の前期対比は、次のとおりです。(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高	対比(当期末-前期末)
現金預金	36,433,111	44,528,164	8,095,053
未収入金/売掛金	47,683,173	81,529,256	33,846,083
その他流動資産	10,419,306	8,991,365	-1,427,941
合 計	94,535,590	135,048,785	40,513,195
未払金	4,766,657	32,868,155	28,101,498
未払法人税等	70,000	70,000	0
預り金、未払費用等	1,432,338	3,351,179	1,918,841
合 計	6,268,995	36,289,334	30,020,339

### 3 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具器具備品	1,161,573	1,154,730	6,843
合 計	1,161,573	1,154,730	6,843

### 4 保証債務、担保提供資産はありません。

令和4年度 第22期 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

令和5年(2023年)3月31日現在

特定非営利活動法人言論エヌピーオー

(単位:円)

科目・摘要				金額	
<b>I 資産の部</b>					
<b>1 流動資産</b>					
現金預金					
現金	現金手許有高			255,351	
普通預金	三井住友銀行	赤坂支店(一般)		6,043,982	
		赤坂支店(雑誌)		13,818	
		赤坂支店(補助口TBF)		99,591	
		京橋支店(一般/外為)		3,395,502	
		京橋支店(発展型)		47,904	
		京橋支店(総合)		16,042,481	
	西武信用金庫	日本橋支店(一般)		187,545	
		日本橋支店(E-NPO)		3,704,907	
		日本橋支店(LUCE)		14,592,405	
		日本橋支店(助成)		5,781	
	中央労働金庫	日本橋支店		13,447	
	楽天銀行	ビート支店		9,576	
	セブン銀行	法人営業第一部		7,822	
	みずほ銀行	小舟町支店		7,462	
	三菱UFJ銀行	大伝馬町支店		96,554	
	ゆうちょ銀行			4,036	44,528,164
棚卸資産	書籍	前期発行分迄の99%評価減控除		183,035	183,035
売掛金				80,400	80,400
未収入金	役務収益等			81,448,856	81,448,856
その他流動資産	前払費用,立替金,仮払金,貸付金等			8,991,365	8,991,365
	流動資産合計				135,231,820
		44,597,134			
<b>2 固定資産</b>					
工具器具備品	デジタルビデオ	27,318,863	1個	1	
	PC一式/SONY		1式	1	
	ビデオカメラ-RolandVR-50HD		1台	6,841	6,843
敷金	(株)エム・エス・ビルサポート			5,053,736	5,053,736
出資金	西武信用金庫			10,000	10,000
	固定資産合計				5,070,579
	資産合計				140,302,399
<b>II 負債の部</b>					
<b>1 流動負債</b>					
未払金	E-NPO大賞関連費、イーナチュラル、富士	2,433,119		32,868,155	
未払法人税等	都民税均等割	令和4年度分都民税		70,000	
前受金	定期購読料、会議参加費			50,326	
預り金、未払費用等	源泉所得税、仮受金等			3,351,179	36,339,660
	流動負債合計				36,339,660
<b>2 固定負債</b>					
長期借入金	西武信用金庫 日本橋支店	東京信用保証協会	0006257	30,000,000	
長期借入金 370	(株)日本政策金融公庫 東京中央支店	三井住友銀行京橋支店	8496028	52,412,000	82,412,000
	固定負債合計				82,412,000
	負債合計				118,751,660
	正味財産				21,550,739

棚卸資産:

発行後1年以上の書籍は、取次会社の分を除き、期末半年間の販売率は平均0.5%以下  
そのため、法人税法基本通達9-1-6の8に基づき、書籍在庫金額について、99%の在庫評価損を計上した  
言論NPOの活動内容の宣伝、渉外用として献本している。

令和4年席年間役員名簿 (役員名簿及び役員のうち報酬を受ける者の名簿)

特定非営利活動法人 言論NPO

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

Table with 5 columns: No., Role Name, (Furigana) Name, Compensation, and Position. Rows include 1 (Chairman), 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, and 10.

### 社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人 言論NPO

	氏名	
1	工藤 泰志	[Redacted]
2	富家 友道	
3	松元 崇	
4	明石 康	
5	宮本 雄二	
6	鈴木 悠二	
7	山岡 浩巳	
8	小池 信行	
9	益子 哲郎	
10	キッコーマン株式会社 取締役名誉会長 取締役 会議長 茂木 友三郎	
11		
12		